

1. 調査目的等

中学校全学年の生徒の学力を把握・分析し、学校における教育指導の成果と課題の検証やその改善及び進路指導に役立てる。

2. 学校ごとの指標

○入学時の学力を維持・向上させ、全学年が県平均(偏差値50)以上を目指す。

3. 指標にむけての取組

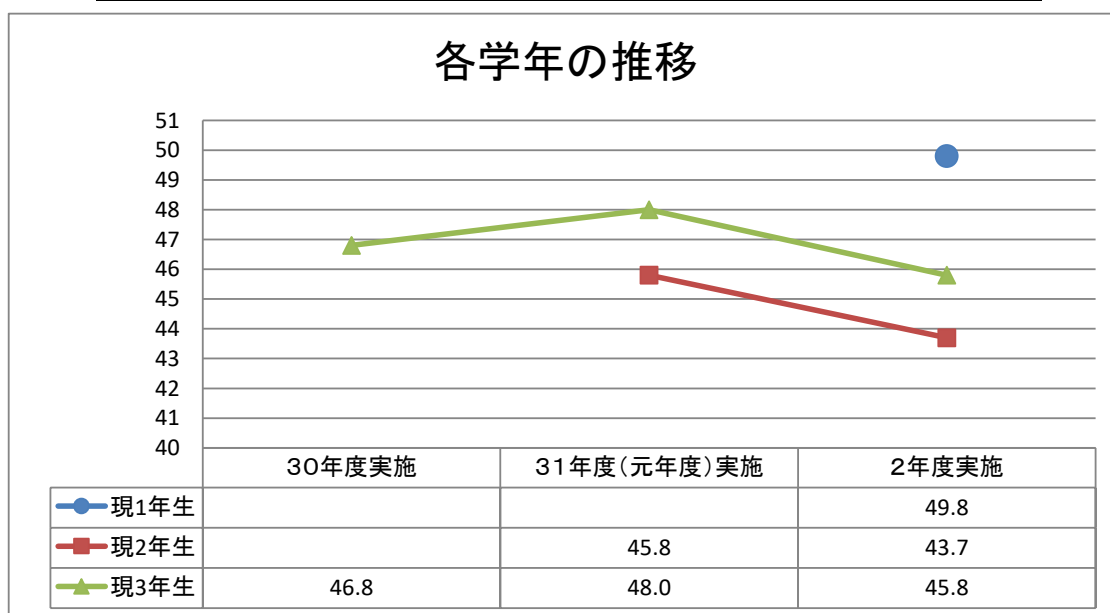
- OTTでの個別支援(英語科・国語科)や習熟度別授業(数学科)
- 定期考査において視点4(教員の意識・指導力の向上)を意識した各教科における問題作成、分析・考察、授業改善

4. 調査結果

※学校平均5年間の推移 (標準偏差値50に対して)

年度	28年度	29年度	30年度	31年度 (元年度)	2年度
本校(A)	47.2	47.8	48.7	47.5	46.4
嘉麻市(B)	47.3	47.9	49.3	48.8	48.6
(A)－(B)	-0.1	-0.1	-0.6	-1.3	-2.2
標準偏差値との差 (A)－(50)	-2.8	-2.2	-1.3	-2.5	-3.6

各学年の推移



5. 各学校における分析

- 【1年生】国語は県平均を4.1ポイント上回っているが、残り3教科は1.2～4ポイント下回っている。
- 【2年生】入学時の標準学力分析検査と比較すると5教科平均で2.1ポイント下回っているが、教科別では1年次の1月と比較すると国語は4.9、社会は1.4、理科は2.4ポイント上昇、数・英は順に6.3、3.9ポイント下回っている。
- 【3年生】入学時と比較すると1ポイント、2年次では2.2ポイント下回っている。2年次1月と比較すると国4.2、英1.9ポイント上昇している。

〔取組内容〕

- ・2、3年の国語に関しては「聞き取り、文章の推敲、説明的文章、古典」の全ての分野において上昇している。フォローアップシートを活用して復習（週末課題や休業中の課題）に取り組んだことが成果としてあらわれた。
- ・2年社会に関しては1年次の学年末でプリントによる復習に取り組めたこと、休校中もわからない所を教科書で調べるなど丁寧に取り組めたことが成果としてあらわれた。
- ・2、3年の数学に関しては2ヶ月の休校期間があり、さらに3月に復習の時間が十分に取れなかったことが1月より下回った要因と考える。また、休校期間中の、生徒の課題への取り組み方（自力で解ける力を持った生徒とそうでない生徒）にも差があらわれている。
- ・2年理科に関しては年間を通して小テストに取り組んできたこと、実験レポートの作成等が成果としてあらわれた。
- ・3年英語に関しては定型文を暗記したり、書かせたりするものを課題として取り組んだり、定期考査等の過去問に取り組んだことが成果としてあらわれた。

6. 各学校における今後の取組

- ・基礎基本の定着を図るため、昨年度以上に既習内容の復習や小テスト（確認テスト）などTT授業や習熟度別授業等においてきめ細やかな指導を継続して行う。
- ・家庭学習の定着のため、1学期に自学ノートの交流を各学年で取り組んだ。2学期は1学期の成果と課題をふまえ、点数アップにつながる自学ノートの作成・交流を行う。
- ・2年英語の学力向上、基礎的内容の補充のため、2学期は朝読書として使っていた時間帯を期間を決めて朝学習に取り組んでいく。
- ・学校の重点目標に「基礎基本の確実な定着を図る授業づくり」「学習習慣づくりと家庭学習の充実」また経営の重点に「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり」を位置づけており、それぞれの学年における入試問題の傾向（思考力を問う問題等）に対応できるよう授業改善に取り組む。
- ・数学科3名（教諭2、指改1）、英語科に課題対応非常勤講師を1名配置していただいたことによる指導形態の工夫により基礎学力の向上を図る。
- ・数学科はTT授業＋個別指導、習熟度別授業（3年）を、英語科はTT授業＋個別指導、習熟度別授業（2年2学期からの予定）を行う。

7. 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◎今後の取組を具体化し推進することができるように、特に、次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。
- ◆定期考査評価後の個に応じた習熟度別指導を取り入れた指導方法の工夫を推進する。そのために、習熟度別指導の単元づくりや個に応じた補充プリントの活用の仕方について指導する。また、「思考力・表現力等を問う定期考査」の実施、それに伴う授業改善を推進する。
- ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した思考を伴う「書く（かく）活動」や目的のある「話し合い活動」を核とした授業づくりを推進する。また、「問いづくり・思考づくり・価値づくり」の視点をもとに授業改善の取組を推進する。そのために、校内研修での授業観察指導を実施したり、「学力向上に向けた授業づくりの8つのポイント」や「書く活動ポイント9」を活用することができるように指導助言や支援を行ったりする。
- ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、個に応じた学習課題の提示を進めるとともに、自学の習慣化に向けた具体的な取組を提示したり各学校の取組のよさを交流する場を設定したりする。